

教員名	高 橋 伸 次	所属学科	地域政策学部 地域づくり学科
【ゼミでは何を学ぶのか】 生活の中のスポーツ教育や生涯スポーツの必要性が叫ばれている今日、スポーツを日常のものとする社会のしくみが求められています。そのしくみづくりをどうしたらいいのか考えるのがスポーツ政策です。豊かで活力ある社会を構築していくために、地域やコミュニティを主たる基盤にして生起しているスポーツの意味や機能を理解することを目的にしています。			
【どのように学ぶのか】 今日のスポーツを理解するには、スポーツそのものだけでなく、スポーツを取り巻いている社会のあり方やその変化を理解する必要があります。またスポーツには、人びとの関わり方によってそれぞれの意義や目的があり、今日のスポーツに接近する糸口はまさに無限といえます。 ゼミナールでは、こうしたさまざまな表情を見せるスポーツに関して、資料や文献にあたったり、討論したり、ときに実際に体験することを通して、これまで「する」「みる」だけの対象であったスポーツを「考える」対象として、そして「身体」ではなく「文字」でスポーツを表現することを試みます。			
【学んだことはどのように生かせるのか】 スポーツを学ぶということは、「人」や「社会」を学ぶことに通じます。どのようにも生かせることができますと思います。			
【おすすめの入門書・基本テキスト】 スポーツは社会の反射鏡です。「人間」「自然」「教育」「経済」「政治」など、あらゆる分野がスポーツを考えるテキストになります。			
【まだ見ぬ君へのメッセージ】 現在のわが国は、とりわけ地域におけるスポーツの展開に多くの課題が見られます。スポーツ指導者をはじめとして、地域スポーツ振興の担い手に若い力を必要としています。			